

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第172号	氏名	加地千春
学位審査委員	主査	畑山 範	
	副査	有吉 紅也	
	副査	芳本 忠	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>近年、非莢膜保有インフルエンザ菌(NTHi)によるバイオフィルム形成と慢性中耳炎や副鼻腔炎の難治化との関連が注目されている。本研究は、インフルエンザ菌の形成するバイオフィルムに及ぼす種々の抗菌剤の効果を明らかにするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>6種類の抗菌薬のNTHi臨床分離株2株のバイオフィルム形成に与える影響を評価するために、従来のMicrotiter Biofilm Assayに加え、Continuous Flow Cell Chamberを用いて、より生理的な環境下におけるバイオフィルム形成量およびバイオフィルム内の生育菌数をCOMSTATで3次元的に計測し定量化して研究に用いており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>従来不明であった各種抗菌薬によるインフルエンザ菌のバイオフィルム形成に与える影響を明らかにし、フルオロキノロン剤が最もバイオフィルム内生菌の殺菌効果があることを実証した。以上のことから、小児慢性中耳炎など難治性インフルエンザ菌感染症に対する新規治療薬の開発への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			